

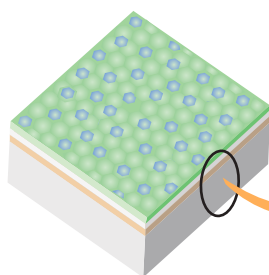
アルクアーフ

窯業瓦塗り替え向けに開発された高光沢・高鮮映性塗料。

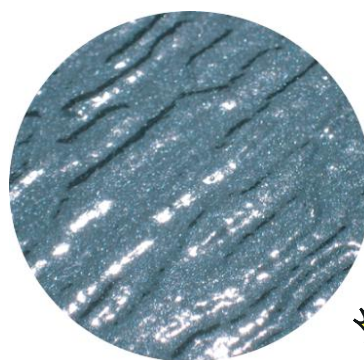
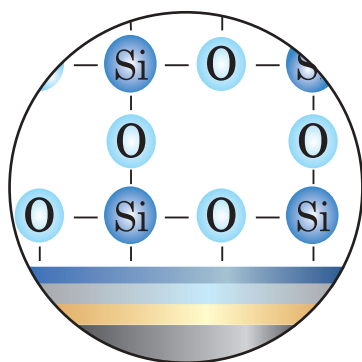
水性塗料では難しいとされていた高光沢・高鮮映性の実現により高外観が得られます。

1 液反応硬化型アクリルシリコン樹脂の採用により、強靱な塗膜と優れた耐候性を実現。

アルクアーフ塗膜イメージ



1 液反応硬化型シリコン樹脂のシロキサン結合が緻密で強靱な塗膜を形成します。



実際の外観



標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗装回数	標準使用量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	砂、ゴミ、浮いた塗膜などの付着物は高圧洗浄で入念に除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	エポノックスマイルドプライマー	1	0.12～0.14	6時間以上 7日以内	ペイントシンナーA	0～10	ハケ、ウールローラー
上塗り	アルクアーフ下塗	1	0.12～0.14	2時間以上	清 水	0～10	ハケ、ウールローラー
上塗り	アルクアーフ上塗	1	0.12～0.14		清 水	0～10	ハケ、ウールローラー

●上記の数字はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件、下地状況により多少の幅を生じることがあります。

製品体系

塗料名	容量	色相	つや	塗り面積/缶当たり(16kg) / 1工程
アルクアーフ	16kg、4kg	各色	つや有り	114～133m ²

概 要	
主用途	窯業屋根
適用下地	セメント瓦屋根、スレート瓦、新生瓦など
主要組成	アクリルシリコン系
荷姿	16kg、4kg
色	白、原色、各色
仕上がり	つや有り
塗装器具	はけ、ウールローラー、エアレススプレー
希釈剤（希釈率）	清水（はけ、ローラー、エアレススプレー 0～10%）
間隔時間（23℃）	工程内2時間以上、最終養生24時間以上
ホルムアルデヒド放散等級	該当せず
JIS規格	該当せず
防火認定	該当せず
消防法表示	非危険物
適合下塗材	エポノックスマリンシーラー、エポノックスマイルドプライマー

施工上の注意事項

- ①下地調整が不十分だと塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは 9.8MPa（100kgf/cm²）以上の高圧水洗かワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜を十分に除去してください。

②鉄部に直接塗装はできません。最寄りの営業所にご相談ください。

③過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。

④水洗い後は、1 日以上乾燥させてください。また素地が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。

⑤被塗装物の構造、部位、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。

⑥絶えず結露が発生するような場所での使用は避けてください。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。

⑦塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度の場合には、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。

⑧シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ⑨塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度 85%以上である場合、または換気が十分なく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。

⑩屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。

⑪塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。

⑫飛散防止のため必ず養生を行ってください。

⑬ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。

⑭汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合は、塗料ロット、希釈率、補修方法などの塗装条件を同一にしてください。

⑮塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。

⑯開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

⑰塗料漏洩の原因になりますので、保管、運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。